

西新井納税貯蓄組合連合会会長賞

「税金は社会の会費」

足立区立 第五中学校

三年 遠藤 美優

消費税、住民税、所得税、固定資産税、自動車税、タバコ税、医療税。私が今思いつく税金の種類です。他にどんな税金があるのか調べてみると日本には五十種類もの税金がある事が分かり、その数の多さにビックリしました。そして、中学生の私が直接関わる税金は買い物をした時に支払う消費税くらいで大体は大人が支払うもの。という意識しかありませんでした。でも、今回税金の事を調べているうちに医療税だけでも私は今現在、皮膚科に通っているので週に三回は直接お世話になっている事を思い知りました。足に火傷をしてしまい、赤外線レーザーを打っています。本当なら、一回二千円掛かります。薬局で処方される炎症を抑える飲み薬に塗り薬は全て会計時には支払いません。これは、私が住んでいる地域で「子ども医療費助成制度」がある為です。こんなに直接的に私は税金を使用していました。でも、今回税金と言われてピンとこないくらい病院へ掛かる事は普段の生活の中で当たり前になってしまっているのだと思い、もっと国や地域にありがたみを感じなければいけないと実感しました。

次に、色々な所で使われている税金の使いみちについて調べてみました。私たち国民が選挙で選んだ国会議員・市区町

村や都道府県の議会議員などが話し合って決めています。国に納められる税金については、まず、財務省が他の省庁とも相談しながら使いみちである予算案を作り、その案を内閣で話し合い国会に提出します。国会では、国会議員がその案について話し合って最終的に決定します。都道府県や市区町村の場合も同じように議会で予算案を作り、その内容を話し合い決定します。税金の使いみちは、国民が選んだ国会議員・市区町村や都道府県の地方議会議員を通じて、国民が決めていてこの予算に基づいて、みんなで暮らしやすい環境をつくるためのさまざまなサービスを提供しているのです。

警察署や消防署、市役所、公立病院、公園ゴミ処理施設、道路や橋の整備など。毎日通っている学校でも、校舎や机、椅子、黒板、理科の実験道具、プール、教科書など。それから、お年寄りのための介護や年金。それに火山の噴火や洪水、地震などの災害復旧、コロナの対策などにも、税金が使われています。書き出してみると、こんなにも身近なところに税金が使われている事が分かりました。これらのサービスに必要なお金をみんなで出し合うのが税金なんだと、改めて勉強になり、税金は、国民が互いに支え合ってよりよい暮らしをする為に必要不可欠な「会費」なんだと今回改めて感じました。

私も大人になったら、しっかり会費を納税していこうと思いました。

そして現状、少子高齢化により納税者の割合が減って介護や福祉に掛かるお金が多くなっています。今以上に税金が必要になる世の中でもっと税の知識を深めていきたいです。